



The Star in the West

東京西ワイズメンズクラブ会報

THE SERVICE CLUB FOR THE YMCA

THEY'S MEN'S CLUB OF TOKYO-NISHI(03)3202-0342

c/o TOKYO YMCA YAMATE CENTER,2-18-2 NISHIWASEDA,SHINJUKU-KU,TOKYO 169-0051 JAPAN

国際会長主題
アジア会長主題
東日本区理事主題
あずさ部部長主題
東京西クラブ会長主題

“Our Future Begins Today” 「私たちの未来は、今日より始まる」
“Respect Y's Movement” 「ワイズ運動を尊重しよう」
「明日に向かって、今日動こう」
「あずさ部は賜物の宝庫。もっと活かそうぜ！」
「楽しい例会を」

2016年7月号

NO 479

わたしは植え、アポロは水を注いだ。しかし、成長させてくださったのは神です。
ですから大切なのは、植える者でも水を注ぐ者でもなく、成長させてくださる神です。
新約聖書 コリントの信徒への手紙 3章 6・7節

どうぞよろしく

新会長 高嶋美知子



久しぶりの会長職、私にできるのか？でもやるしかない。覚悟を決めました。そして目の前には、東京西クラブ40周年記念祝会が迫っています。まずはこの会を皆様で盛会に終わらせたいです。そしてこれから1年間のクラブ運営を始めたいと思います。標語「楽しい例会を」をもとに皆様とともにやっていきたいと思えます。

会員増強・例会でのスピーカー・他クラブ交流・また熊本地震・東北地震・熊本での西日本区大会といろいろと協力をお願いします。この1年よろしくお願ひいたします。

クラブ役員

会長 高嶋美知子
副会長 篠原文恵
書記 本川悦子
会計 石井元子
担当主事 宮崎純

ラグビーの躍進に学びたい 創立40年祝会準備完了

「東京西クラブも、まだまだ面白いと言わせたい、思いたい」の一念で準備をしてきました。ほぼ整い、本番を待ちます。

記念講演は、元ラグビー日本代表の名選手で、経営コンサルタントの今泉清さん。熱く語っていただきます。ウエルカムコンサートは、ウィーン国立音楽大学を最優秀賞付与で卒業し、欧州で演奏活動をされた武藤聡子さん。東京YMCAのリーダーの「ムーミン」です。クラブが取り組んでいる、東京YMCAホテル専門学校の留学生に奨学金の贈呈式があります。「ワイズの懐かしのメロディー」の歌唱も面白いかも。

世間では、40歳の誕生日だと言っても、人は来てくれません。今回は130人の方が、祝い励ましのために集ってくださいます。感謝の思いをもって笑顔でお迎えしましょう。

(吉田明弘・実行委員長)

WHO200回は、 鳩山会館と文京関口付近

WHO・200回は、旧鳩山一郎邸と、最近公開された熊本細川家ゆかりの松聲閣を訪れます。

期日：2016年7月23日(土)

コース：メトロ有楽町線・江戸川橋駅ー音羽通りー鳩山会館(建物・庭園)ー緑のプロムナードーカテドラル聖マリア聖堂ー日本女子大学成瀬記念館ー(講談社野間記念館：夏休み)ー目白台運動公園ー新江戸川公園(松聲閣)ー江戸川公園ーメトロ有楽町線・江戸川橋駅など

集合：メトロ有楽町線・江戸川橋駅・1a改札口
午前9時40分

解散：同上駅など 午後2時

携行品：昼食は持参しなくても、飲料、雨具、敷物

参加費：300円(交通費・施設入館料は個人負担)名札代200円。

6月の記録		ニコニコ	7,950円
在籍者数 18人 (内功労会員) 1人	メネット 1人	クラブファンド	280円
例会出席者数 13人	コメント 0人	ファンド残高	344,439円
メーカーキャップ 0人	ビジター 1人	ホテル校ファンド	6,000円
出席率 76%	ゲスト 1人	ホテル校残高	119,308円
前月修正 -	出席者合計 16人	WHO参加者	29人

7 月例会のご案内

今月の強調テーマ： キックオフ

YMCAサービス・ASF・RBM

新年度のスタートの月です。高嶋会長のもと初の例会日です。会長主題「楽しい例会を」に基き、各自の発言も楽しい例会にしましょう。

幸い、今月は新部長の公式訪問で挨拶と卓話を頂きます。その後に楽しい懇談の時を持ちたいと思います。

長い間の準備の時間をもち開催された 40 周年祝会も皆様のご尽力で無事終了することでしょう。これを機にいよいよ YMCA や地域の奉仕に励み、ワイズダム発展に寄与しましょう。

日時：7月21日(木) 18:45~21:00

会場：「あんさんぶる荻窪」4F 第2教室

(杉並区荻窪 5-15-13 TEL/03-3398-3191)

会費：1,500 円 (ゲスト、ビジター、メネット)

担当：新 C 班 (大野・片平・小山・本川・山田)

HAPPY BIRTHDAY

16 日 河原崎和美 30 日 山田 紀子

受付 山田利三郎
司会 片平 進一

開会点鐘 高嶋 会長
ワイズソング 一 同
聖書朗読・感謝 小山多喜子
挨拶と紹介 高嶋 会長
部長公式訪問挨拶 あずさ部長 浅羽俊一郎
会食・懇談 一 同

卓話 「“ We-ing ”って何ですか？」
浅羽俊一郎さん

質疑・応答

ワイズ報告 高嶋会長他
YMCA 報告 宮崎 主事
スピーチ (ニコニコ) 一 同
閉会点鐘 高嶋 会長

— 6 月第 2 例会報告 —

日時：6月26日(木)

19:00~21:00

場所：あんさんぶる荻窪

1F 会議室

出席者：石井、大野、神谷、河原崎、篠原、高嶋、鳥越、本川、山田利、吉田

< 報告事項 >

- ①6月のデータを確認した。
- ②6月の経常会計を承認した。
- ③会員の近況が報告された。
- ④今後は事務会を第2例会とし、全員参加を呼びかける。

< 協議事項・例会関係 >

▲8月納涼例会

日時：8月18日(木)

会場：未定

担当：A班(吉田・篠原・鳥越・木原・堀内・山田紀)

< 協議事項・例会以外 >

- ①熊本地震復興支援募金は、今後とも機会を見て行うとした。
- ②創立 40 周年記念祝会について：プログラム冊子の原稿確認、当日の時間配分などの打ち合わせを行った。

卓話者紹介

浅羽 俊一郎 (あさば・しゅんいちろう) さん

2016年6月戦艦大和から生還した律儀な父とクリスチャン家庭で育ったおおらかな母。この両親の元で育ったのが私と先に他界した妹ですが、特に私は父の転勤に加え、UNHCR の仕事で数年ごとに移動する生活を余儀なくされ、地縁ならぬ知縁を大切にしてきました。UNHCR を通して知り合い、今や世界各地に散在する元同僚は大切な宝です。また日本では YMCA で知り合った仲間、今はワイズメンとアマチュアジャズバンドの仲間との交わりに期待している訳です。そして若者には We-ing、即ち垣根を越えて仲間の輪を広げようぜ、待っていないでこちらから「歩み寄ろうぜ」と訴えています。全く無計画なこの人生ですが、神さまの導きを感じているこの頃です。

ワイズ歴：2015-16 年度 東京山手クラブ会長・東日本区ユース事業主任

YMCA 関係：東京 YMCA 国際委員、埼玉 YMCA 会員、ぐんま YMCA 会員、日本 YMCA 同盟常議員・国際協力委員

家族：妻・浅羽恵、息子・慶太郎

趣味：トラッド・スイングジャズ

住まい：埼玉県新座市在住

- ③長期間欠席の会員について、情報を交換した。さらに詳しい情報をえるために、担当者を決めた。それらの情報、ご本人の意

向を踏まえて、今後の処遇を決めることにした。担当者は、神谷、吉田。

(書記・篠原文恵)



手を挙げて宣誓する2016/2017年度クラブ4役の皆さん



盆栽美術館でボランティアの説目に耳を傾ける

－ 6 月例会報告－

梅雨らしいシトシト雨の中、6月の例会が開催された。6月はワイズメンズクラブの年度末であり、当クラブでも2015～2016年度の総会例会となった。

議事1は、総会資料に基づいて大野会長から東京西クラブの事業報告がなされた。2015～2016年度の「クラブの高齢化の波の阻止と、若い会員の入会」という課題に取り組んだが、なかなか難しかったとの報告があった。

議事2は、2016～2017年度の会長主題「楽しい例会を」が、高嶋次期会長から発表された。高嶋次期会長は、メンバーを2～3名増やし、お客様に来ていただけるスピーカーをお呼びしたいとの目標も力強く発表された。

議事3では、クラブ役員交代式が吉田明弘さんの就任式辞のもと行われた。

会長・高嶋美知子さん、副会長・篠原文恵さん、書記・本川悦子さん、会計・石井元子さんが宣誓を行った。直前会長となった大野ワイズメンへ、山田ワイズメンより感謝の辞が送られた。

今年度は、ワイズメンズクラブは全国的に女性の役員が増え、時流に乗ってか、東京西クラブも女性の役員で新年度の船出となり、大いに期待が寄せられ、一段と賑やかなクラブとなり、毎月の例会が楽しみである。

この日は元東京 YMCA 主事である杉並センター担当であった米山

氏がゲスト参加され、昔話と共に楽しい語らいとなった。

(宮崎 純)

出席者：石井、大野、片平、神谷、河原崎、小山、篠原、高嶋、竹内、本川、宮崎、山田利、吉田、＜メネット＞神谷、＜ビジター＞小畑貴裕（東京まちだ担当主事）、米山敏裕（杉並 YMCA 担当主事）

－ 7 月WHO報告－

大宮の神社と盆栽を堪能

6月25日、大宮駅の広いコンコースに集合、29人で出発した。

最初の見学地・氷川神社は2kmの参道が続き、二の鳥居から見事な並木を見ながら本殿へ進む。代替わりした切り株が竹の柵に守られ、両脇の民家も景観を守り、古い歴史を感じさせた。「大いなる宮居」と地名・大宮の由来となった氷川神社は、初詣の参拝者は全国で10位の混雑だそうだが、静かな境内では宮参りや小さな結婚式の情景を楽しみ、隣接の大宮公園も程よく手入れされ、花のシーズンを連想させた。

程なく「県立歴史と民族の博物館」に到着、ル・コルビジエを師とする前田國男の設計になる建物は、煉瓦と広いガラスのホールが印象的、早速ボランティアガイドの案内で見学した。川越城のジオラマや、藩主柳沢吉保ゆかりの文献などがあったが、隣室の農機具の種類の高さには驚いた。偶々、受付で目を止めた土器は触っても良いとのこと、生まれて初

めて縄文、弥生、埴輪の頭部を手に乗せることができた。

館内で昼食のあと、いよいよ盆栽村へ出発、千駄木の盆栽・植木職人たちが移住してできた町内は、生け垣に囲まれ落ち着いた風情、盆栽園の一つ「清香園」の庭を見学させてもらう。小さな鉢の大きな自然は見飽きることがなく、手の届きそうな値段の鉢を横目に見て、最後の「市立盆栽美術館」に向かった。次年度の東日本区理事・利根川恵子さんの紹介で、ここでも3人のボランティアガイドが案内をして下さった。

実際に和室を再現してあり、その格式により床の間に置かれる盆栽の違いが分かり、贅沢な空間になっていた。樹齢1,000年を超すという五葉松、大隈重信や、岸信介が愛でたという大型の作品の他にも、うねるような幹、美しい樹形の数々が並んでいた。四季を通じての変化も分かり、今回は紅葉の時期に再訪したいと思う。

熊本災害復興支援のために献金5,600円をいただき、東京西クラブの募金と合わせて、現地のワイズメンに送らせていただくことで参加者から同意を得ました。足を痛めて1年近くWHOを休んでいたが、無理を承知で参加した甲斐があった1日となりました。

(篠原文恵)

ワイズ関係の参加者は、石井・吉田・篠原（東京西）、中澤（東京たんぼぼ）、関（石巻広域）でした。



右は、所信表明の利根川恵子次期理事。
左は、善光寺天台声明研究会の「天台声明」



5月28日にチャーターした石巻広域クラブの出席メンバー。右端は経過説明する清水弘一さん、右から4番目は平井孝次郎会長

は終了。次の出し物は、「善光寺参り絵解き口演」。長野郷土史研究会の母とその息子との2人の出演。善光寺を中心にした市民の生活を描いた大きな掛け軸の絵を説明するというもの。口演を聴きながらその絵を見ることによって仏の功德を有り難く理解することができるというもの。

次は、ホテルメルパルク長野にて懇親会。初めに善光寺木遣でオープン。食前感謝のお祈りはカードに書かれた仏教の食事作法のお題目を福島さんのリードで朗誦。これも又初めての経験でした。旧友との再会、新たに会った友との歓談。懇談会の終わりは地元の連の阿波踊りの演技と、皆が一緒に同じ阿呆なら踊らにゃ損損とばかり、会場は阿波踊りの渦。一汗かいたところでお開きとなりました。

翌第2日目8:45から、キリスト教の主日礼拝。席上献金は熊本大震災の復興支援に捧げられました。東日本区アワー(2)は、各事業主任の報告と、表彰式。今年も数々の奉仕活動に賞状と盾が贈られました。理事引き継ぎ式、役員バッジ引き継ぎ式、新理事の所信表明があって、閉会式となりました。

東京西クラブの参加者は、石井、大野、神谷、神谷M、篠原、高嶋、本川、吉田でした。

(神谷幸男)

2015～2016年度 東日本区年次代議員会

6月4日(土)10:30～12:00、東日本区大会開催に先立ち、若里市民文化ホール2F会議室において行われた。代議員76人、司会は仙洞田安弘書記、議長渡辺隆理事によって議案審議が進められた。

第1号議案：2014～2015年度決算報告及び会計監査報告・承認
第2号議案：2015～2016年度年次報告及び行政監査報告・承認

第3号議案：2015～2016年度中間決算及び会計監査報告・承認

第4号議案：東日本区会計決算、監査報告の承認方法変更・承認

第5号議案：次期理事、次年度の次期理事、次年度の次々期理事、次期監事候補者指名

次期理事(2016～2017年度理事)
利根川恵子(川越)

次年度の次期理事(2017～2018年度理事)

栗本治郎(熱海)

次年度の次々期理事2018～2019年度理事)

宮内友弥(東京武蔵野多摩)

次期監事(2016～2017年度)

駒田勝彦(甲府21)(継続)

久保田貞視(東京八王子)

東日本区理事方針・承認。

東日本区役員・承認。

東日本区会計予算・承認。

第9号議案：第21回東日本区大会ホストクラブは沼津クラブ(開催地沼津)として承認された。

以上をもって閉会した。

(大野貞次)

第19回東日本区大会参加記

第19回東日本区大会は6月4日(土)12:25から6月5日(日)11:45、長野市において開催されました。来賓、西日本区のメンバー約40人を含む400人強が集まりました。

まずは長野少年少女合唱団の澄みきった美しい合唱で私たち温かく迎えてくださいました。

開会式、東日本区アワー(1)は型通り順調に推移し、休憩後のセッション長野プレゼンツ「ワイズにひかれ善光寺」は今までの区大会にはなかった目新しいものでした。

長野クラブメンバーである福島貴和さんの説明・解説で善光寺天台声明研究会の演ずる「天台声明」です。10人の僧侶が二手に分かれて会衆席の背後から声明を唱えながら前方に進み、舞台に上がります。そしてやや八の字型に向き合って立ったり座ったり、所定の所作で声明を吟じます。それから1人ずつ舞台から退出しました。全員が退出したところで演技

☆☆ インビュー ☆☆ 山田利三郎さんに聴く

* * *

山田利三郎さんは、東京西クラブのチャーターメンバー。1991-92年度の日本区理事でした。



—山田さんとは、ワイズを通しての長いお付き合いですね。

「本当に。私が東京武蔵野クラブ（現・東京武蔵野多摩クラブ）の会員だった時に、吉田さんが属していた東京目黒クラブの家族キャンプに参加して以来ですね」—会社も近かったし。

「私の会社の最初の事務所は、神田司町で、吉田さんの会社は2ブロック離れた神田鍛冶町。神田佐久間町に移ったら、吉田さんの会社も大きな声で呼べば聞こえるところに移転してきました」—神田鍛冶町時代、持田二郎さん（東京）の会社が、隣のビルでした。神田佐久間町では、露崎伊三郎さん（元・同）の事務所兼住居が目と鼻の先。鈴木徳保さん（元・同）の事務所もありました。

「よく町内で顔を合わせました」

—山田さんが日本区理事をされた時には、区書記をさせていただきました。区報を年4回発行し、全メンバーに直接郵送することが、理事方針だったので、毎日何度も事務所にかがいました。社員の方には、ずいぶん迷惑だったと思います。

「社員も YMCA やワイズダムの活動に理解があり、小さな会社でしたから、特に苦情は出ませんでした」

—それだけ会社に行っていないが

ら、山田さんの会社は、何を扱っているのか、メーカーなのか商社なのかも、今だに分かりません。

「元々は、電機会社でセールスエンジニアをやっていました。独立当初は、シリコンを手掛けていました。今の仕事は、1970年ごろからです。簡単にいえば、シリコンをベースに糊が移らない特殊なシートを開発し、半導体製造時に使う材料を、自社や、協力工場で生産して販売する仕事で、取引先は全国、海外にもありますよ」

—ところで、山田さんがワイズに入会されたきっかけは。

「うちの社員が、停車中の露崎伊三郎さん（当時は東京武蔵野）の車に接触事故を起こして、その処理のために話し合ったのがきっかけです。何回か話し合いました。何度話しても、露崎さんの話は、いつも事故のことよりも YMCA とワイズメンズのことばかりでした」

—すぐに決められましたか。

「前から YMCA には関心がありましたので、入会には躊躇はありませんでした。元の会社の上司の山田正吾さん（電気釜の開発者）から、東京 YMCA のホテル学校での「サービス論、実践」について聞いていました」

—ワイズに入ってよかったことは、どんなことでしょうか。

「入会して初めて経験することが多く、先輩のご指導をいただきながら学ぶことに驚きや感謝の念で一杯でした。日本区役員を経てアジアエリアや国際の役員を仰せつかり、多くの友人を得て人生が豊かになりました」

—区理事を務められた頃の日本区の状況はどんなでしたか。

「日本区の2分割論が落ち着き、揺籃期も過ぎて基礎固めをしつつ YMCA との協力関係に目覚めた頃でした。全国にチャーターするクラブが多く、日本中飛び回っていました」

—山田さんが区理事を務められた年度に、「奈良傳賞」、「日本区ワイズ基金」ができました。

「どちらも区のメンバーやクラブからの提案でしたが、私たちが起案しましたね。それが定着して、今も続いていることを懐かしくうれしく思います」

—ワイズメンで影響を受けられたのは、どなたですか。

「奈良信さん（東京山手）と藤本博信さん（東京むかで）には、家が近いので、ワイズの基礎を教えてくださいました。佐藤邦明さん（東京むかで）と鈴木健介さん（東京）には、国際に関わることを勧めながら教わりました。

—パートナー紀子さんとは、どこで出会われたのですか。

「東京山手教会です。彼女は、短大生で教会の寮にいて、求道者会に出ることが義務づけられていたので私は教友の一人でした」—クラブ40年で印象に残る出来事を10挙げてください。

「①東京 YMCA 杉並センターをバックアップするクラブを設立出来たこと、②日本区初の女性会長を出したこと、③韓国の大邱中央クラブ、台湾・台北セントラルクラブと IBC 締結したこと、④メネットクラブのオーストラリア・アデレードメネットクラブと姉妹クラブ締結したこと、⑤肢体不自由児と健常児との統合キャンプへの協力、⑥富士山部が独立する最後の南東部のホストをしたこと、⑦家族キャンプでメンバーで「ヒゲ・ダンス」をしたこと、⑧WHO 活動を始めたこと、⑨東京 YMCA 杉並ランチの閉館によって奉仕の対象を失ったこと、⑩それに代わる東京 YMCA ホテル学校への支援活動が始まったこと、でしょうか」

—東京西クラブの今後の課題は。

「とにかくメンバーを増やすことですね」

—ありがとうございました。

（吉田明弘）

患者さんに「百歳になれますよ！」と告げると、大抵の人は「まさか私が！」と答える。その心は、病気持ちの私がそんなに長生きする筈がないと考える人と、そんなに長生きすると子供たちや国家に対しても申し訳がないと考える人に大別される。

今や、百寿者は日本で6万人を超え、平均寿命は男子80.5歳、女子86.83歳で、今年日本で生まれた赤ちゃんは全員、百寿者になるだろうとの推計も出て来た。否応なく百歳長寿が現実の問題となる時代である。

徳川時代の300年前、貝原益軒は「養生訓8巻」を著し、自らの養生により平均寿命45歳の時代に84歳の長寿を果たした。彼は福岡城で黒田藩主に仕える家系に生まれ、若くして儒学(朱子学)、医学、天文学、博物学を修

め、「長命は五福の第一、万福の根本なり。…人の身は百年を以て期とす。上寿は百歳、中寿は八十、下寿は六十なり。六十以上は長生なり」と述べ、若くして死亡するのは養生が足りず、自殺に等しいとまで云っている。正に抗加齢医学の萌芽を見る。現代では「120歳は上寿、100歳は中寿、80歳は下寿」に置き換えることが出来る。事実、過去の世界の最高長寿者は、1997年に死亡したフランス人女性で122歳である。

1992年米国で始まった「抗加齢医学(アンチエイジング・メディシン)」によると、人生120歳として、そのための生き方を現代医学の証拠 evidence と共に提唱している。日本では「老年医学会」が厳存し、加齢は人間の自然の生息態として受け入れるべきものとして「抗加齢」なるものに抵抗の

向きもあったが、米国の抗加齢医学会の専門医試験に合格した3人の若手医師によって、2001年に日本にも学会が出来、続いて専門医制度が始まった。

数年を待たずに、他の既存の学会を超えて、会員3,000人超を擁する学会に成長し、40歳代中心の医師・歯科医師・医療関係者が毎年5~6,000人が集まる大型学会に成長した。その内容は、「養生訓8巻」の正しさを裏書きするもので、一躍、貝原益軒が脚光を浴びて来た。「諸欲を抑えて、腹七~八分の食事、歩くこと、タバコは吸わない、お酒は少量を…」等々である。

私は2004年の第1回専門医試験に合格しているので、次号に「養生訓」を近代医学に対比させ、[平成の養生訓]と名付け、その有用性を述べてみたい。

105歳、長寿の大先輩

小山多喜子

増田キンさんは、私たち夫婦の仲人をして下さり、今もとても大切なお友達です。

戦後の焼け跡の生活など、面白そうに話して下さいますが、それはそれは現実には大変なことだと思っています。私も、その時代のことは知ることが出来ますので、話して下さいのだろうと思ってお聞きしています。

お宅をお訪ねすると、5人の男子のお孫さんと息子さんご夫妻の8人の賑やかな食事風景で、このような大家族での生活は良いものだなど、いつも思いながらの帰り道でした。

ちなみに御姑様も明治27年に洗礼を受け、大正5年に40歳でご主人を亡くされた後も家庭礼拝を守り続けられ、70余年の信仰生活を守られ、やはり100歳を超えてもお元気でした。お手本にさせていただきますと思います。

「こーちゃんのウエルネス」 最近号を製本

東京西クラブのブリテンの名物コラムだった堀内浩二さんの「こーちゃんのウエルネス」が、誌面から姿を消して7か月になります。

京都キャピタルクラブの岡本尚男さんが、「こーちゃんのウエルネス」が掲載された1983年2月号と、最近8年ほどのブリテンを1冊に製本して、東京西クラブの40周年の記念として、祝会当日までに、送ってくださるそうです。

2016年1月号までが収められています。木原洗さんが、「埋もれ木の記」を書き始めた号です。

日本区が、ウエルネスの精神がワイズライフと通じるとして、区を挙げてウエルネスに取り組んだ時代がありました。

以来、岡本尚男さんは、堀内浩二さんの盟友であります。

(吉田明弘)

編集後記

7月2日(土)朝食後に、新聞を読んでいたら急にめまいがして頭や体が回る感じがして椅子から落ちそうになりました

低血糖症状ではないかと思いき砂糖水を飲み、安楽椅子で休み症状が落ち着いてきたので早速掛かりつけの医者に精密検査を受け、安静の指示を受けました。

ブリテンの編集制作ができなくなる心配があり、吉田明弘さん、篠原文恵さんに電話して、残りの部分の完成をお願いした次第です。

心配したP6の上の欄は、竹内隆さんをお願いしたところ、快くお引き受け下さり「平成の養生訓」としてお書きいただき感謝です。

東京西クラブ創立40周年祝会前の忙しい時に、クラブの皆様にご迷惑をおかけしたことをお詫び申し上げます。(R.Y)